

議 事（3）

登別市地域公共交通計画の修正について

登別市地域公共交通計画

一部改正（案）

令和4年3月

登別市

目次

1 はじめに	1
1-1 計画策定の目的.....	1
1-2 計画の区域.....	1
1-3 計画の期間.....	1
1-4 計画の位置づけ.....	2
1-5 上位計画・関連計画の整理.....	3
2 登別市の地域公共交通を取り巻く現状と課題	12
2-1 地域特性.....	12
2-2 SDGs の取組.....	26
2-3 公共交通の概要.....	27
2-4 各種調査結果の概要.....	42
2-5 公共交通の課題整理.....	46
3 登別市の地域公共交通計画の基本理念と基本方針	49
3-1 基本理念の設定.....	49
3-2 基本方針及び目標の設定.....	51
4 目標を達成するための施策	54
4-1 目標ごとの施策内容.....	54
4-2 基本方針に係る数値目標.....	60
5 計画の推進	62
5-1 推進体制.....	62
5-2 計画の進行管理.....	62
5-3 用語解説.....	63

3-2 基本方針及び目標の設定

【基本方針】

基本理念を踏まえ、まちづくりと連携した登別市における地域公共交通の3つの方針を設定します。また、それぞれの基本方針に対して、具体的な目標を設定し、目標の実現に向けた取組を示します。

基本方針1 既存公共交通を基本とした持続可能な

公共交通ネットワークの確保

登別市の公共交通は、JR、路線バスを中心に公共交通ネットワークを維持しており、公共交通勢力圏カバー率は82.63%となっています。

しかし、人口減少や少子高齢化の進展といった社会情勢の変化、乗務員不足や高齢化、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少など、公共交通事業を取り巻く環境は非常に厳しく、現状の公共交通ネットワークを維持すること自体が困難となってきています。

そのため、現状の公共交通ネットワークを基本としながら、利用者の需要・供給体制・行政負担の軽減など、近隣市町や広域連携を含めた関係者との協議のもとで、減便・廃止なども含めて選択と集中による公共交通ネットワークの見直しと利用促進を積極的に実施します。

◆目標① 公共交通の維持を目的とした便数・経路の見直し

⇒ 登別市は室蘭市や白老町等の近隣市町との結びつきが強く、広域的な連携による公共交通体系の維持が重要です。

既存路線の廃止も含めて、関係機関との協議を行い、路線バスを中心として需要に合わせた減便・経路変更など、持続可能な公共交通ネットワークを構築します。

◆目標② ライフスタイルに合わせた公共交通サービスの導入

⇒ 高齢化社会において、公共交通を維持するためには、高齢者による公共交通の利用が重要となります。

一方で、依然として高齢者の多くは自家用車で移動しており、事故リスクの高まりや外出控えによる健康への影響が懸念されるため、高齢者に向けた割引制度や利用促進策について検討します。

⇒ 公共交通の維持を図るためには通勤時の公共交通利用を促進することが重要となります。

そのため、企業等に対してノーマイカーデーの推進や定期券の活用による土日の割引サービスなど、通勤者に対する利用促進施策を検討します。

⇒ 公共交通に対する興味・関心を高めることを目的とし、高齢者や小中学生に対して、公共交通出前講座を開催します。

実施にあたっては、乗り方教室や運転免許証の自主返納など、交通事業者等と連携のもとで内容について検討します。

4 目標を達成するための施策

4-1 目標ごとの施策内容

(1) 目標① 公共交通の維持を目的とした便数・経路の見直しに係る施策

施策名	持続可能な公共交通体系構築のための路線の見直し
施策概要	<p>現状の JR、路線バスを基本に人口減少・少子高齢化の進展などによる交通需要の変化や交通事業者の乗務員不足等に対応し、減便や経路変更などの見直しと地域内輸送手段の検討により、効率的で持続可能な公共交通体系を構築します。</p> <p>公共交通体系の再構築に向けて登別市立地適正化計画における誘導区域やネットワークの考え方と連携しながら、移動支援を検討する必要があります。</p> <p>また、室蘭市や白老町等の近隣市町との生活交通としての広域移動を支える交通体系についても関係自治体と連携のもとで確保・維持のあり方を検討します。</p>
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR 登別駅、JR 幌別駅、JR 鷺別駅周辺を交通拠点として、駅間を結ぶ幹線路線を JR と地域間幹線系統路線をはじめとした路線バスにより確保・維持します。 ・ 登別温泉と登別駅とを結ぶ路線は生活交通・観光交通として重要な路線であり、JR の時間的接続に配慮した運行体制を確保します。 ・ 登別温泉から足湯入口までの区間は観光のみならず、通勤や私用として住民の移動手段としても活用しており、地域内の安全で安心な生活交通として、グリーンスローモビリティの導入により、地域内の安全で安心な生活交通と観光交通を支援します。運行に当たっては、(一社) 登別国際観光コンベンション協会が運行主体となり、交通事業者の協力型による自家用有償運送(道路運送法第 78 条)に基づき実施しますを含めた検討を行います。 ・ JR 登別駅、JR 幌別駅を乗継拠点として、公共交通空白地域等へのタクシー料金等の助成やデマンドバス等の新たな交通手段の導入による改善方策を検討します。また、JR 登別駅周辺は観光客等をはじめとする多様な属性が集まることから、誰もが安心して移動できるバリアフリー化に向けた整備を検討します。 ・ 移転後の市役所本庁舎への交通アクセスについて検討します。 ・ 登別温泉とカルルス・サンライバスキー場については、季節運行やスクールバスの混乗、予約運行等により、需要に合わせた効率的な運行形態を検討します。 ・ 室蘭市や白老町等、近隣市町をはじめ、関係自治体との連携のもとで公共交通の確保や維持のあり方を検討します。 ・ 新たな交通手段の導入等は、交通事業者や関係機関交通事業者及び登別市地域公共交通活性化協議会が一体となり、JR 駅や広域交通へ結ぶ、地域公共交通確保維持事業(陸上交通:地域内フィーダー系統補助)の活用や広告収入等により、可能な限り地元負担の少ない運行 JR 駅や地域間幹線系統へ結ぶ地域内フィーダー

	システムの運行をはじめ、可能な限り登別市や国の負担が発生しない方法での導入を検討します。							
実施主体	事業スケジュール							
行政 関係団体 事業者		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	長期	
	検討	■						
	実施		■				■	

登別市地域公共交通計画

令和4年3月 編集・発行

令和5年2月 一部改正

登別市市民生活部市民サービスグループ